

# 豆・ソバ スレツシャ

## 取扱説明書

### MS-400

#### も く じ

##### ご使用になる前に

- はじめに ..... 1
- 安全のため必ずお守りください ..... 2
- 各部の名称とはたらき ..... 5
- 使用前の準備 ..... 7

##### ご使用にあたって

- 作業のしかた ..... 10

##### 知っておきたいこと

- 調整・点検・注油 ..... 12
- 長期格納のしかた ..... 14
- 不調の原因と処置 ..... 15

##### その他

- 仕様 ..... 16
- オプション ..... 16
- 安全確認一覧表 ..... 17

ご使用前に必ずお読みください  
いつまでも大切に保管してください

# はじめに

このたびは、本製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。

この取扱説明書には、本機の正しい安全な使いかた、保守点検などについて記載してあります。本機を安全に正しくお使いいただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みになって、本機の構造などをじゅうぶんご理解ください。

なお、仕様などの変更により、お求めいただいた製品と、本書の内容やイラストの一部が一致しない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

お読みになった後、必ず大切に保管し、わからないことがあったときは、いつでも取出してご利用できるようにしておいてください。

## ■危険防止

この取扱説明書では、必ず守っていただきたい重要な注意事項について、次のように表示しています。

### 1. 安全のため必ず守っていただきたいこと。

**⚠ 危険** ……もし守らないと、死亡または重傷事故を引起こします。

**⚠ 警告** ……もし守らないと、重傷事故を引起すことがあります。

**⚠ 注意** ……もし守らないと、負傷事故を引起すことがあります。

### 2. 機械の損傷を防ぐため必ず守っていただきたいこと。

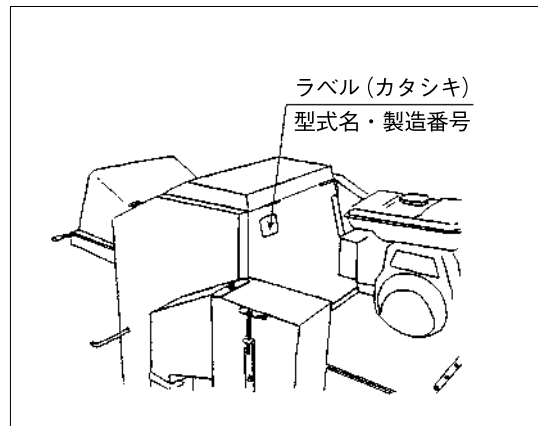
**重要** ……もし守らないと、機械の故障や損傷につながります。

## ■ご不明な点や不具合がありましたら

本書や本機についてご不明な点や、不具合がありましたら、無理に使用せず、ご購入店または弊社（本書のうら表紙に記載）までお問合わせください。

軽い故障でも重大事故につながる可能性がありますので、早期発見に心がけ、早めに整備してください。

故障や不具合が発生したときは、型式名と製造番号を必ずご連絡ください。



### ⚠ 警告

- 本機は豆・ソバなどの脱粒機用として設計されています。この他の用途には使用できません。
- 改造して使用することは、しないでください。

**!** **注意** 安全のため必ずお守りください

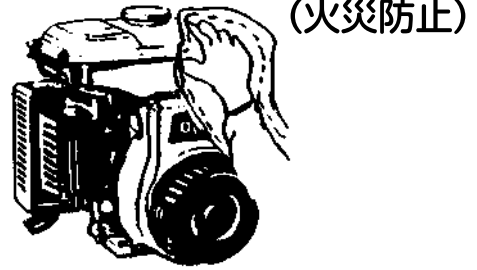
使用前にこの取扱説明書とエンジンの取扱説明書をよく読み、理解する

機械を他人に貸す場合は取扱い方法をよく説明し、あらかじめ取扱説明書をよく読ませる

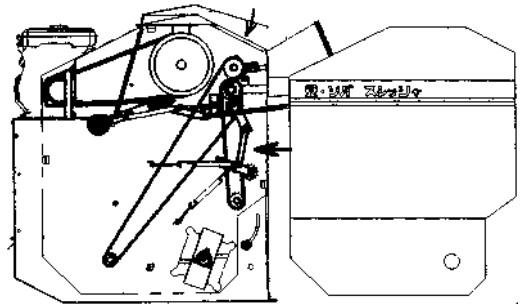
作業に合った服装



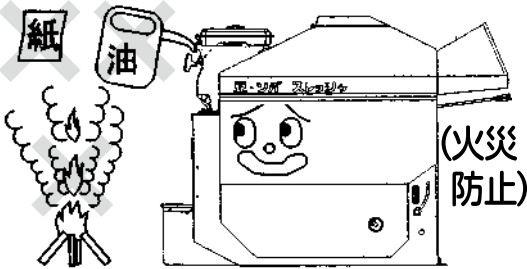
エンジンに附着したゴミなどは常に取除く



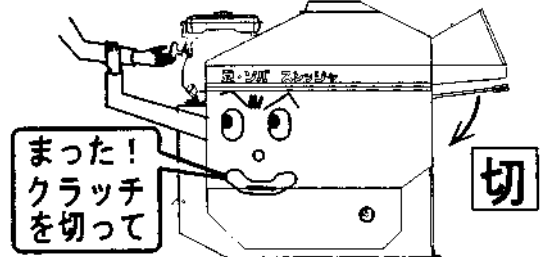
カバーは必ず取付けてから運転



給油はエンジンを止めて、冷えてから、又周囲の火気厳禁

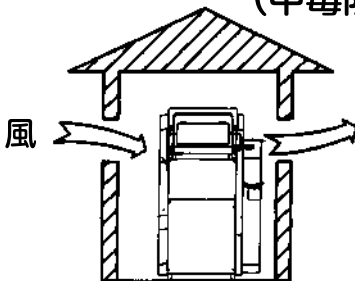


エンジン始動は周囲の安全を確認し、クラッチを切ってから

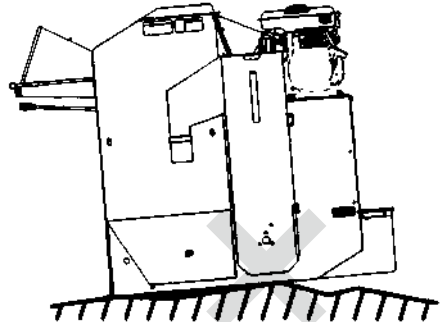


室内換気の悪い所では使用しない

(中毒防止)

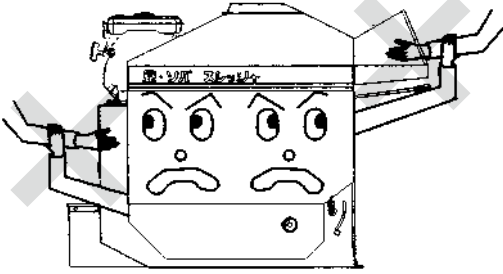


作業は水平でしっかりした場所で

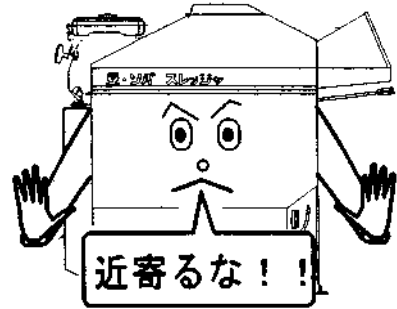


**!** **注意** 安全のため必ずお守りください

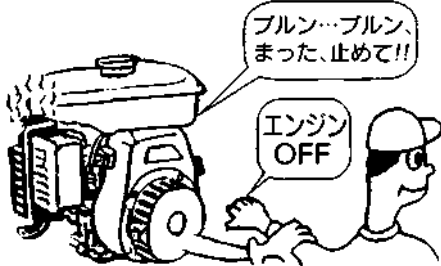
エンジン回転中は供給口や排出口へ絶対に手を入れない



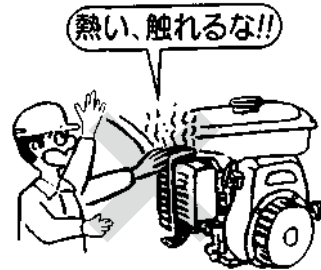
エンジン回転中は人を近づけない



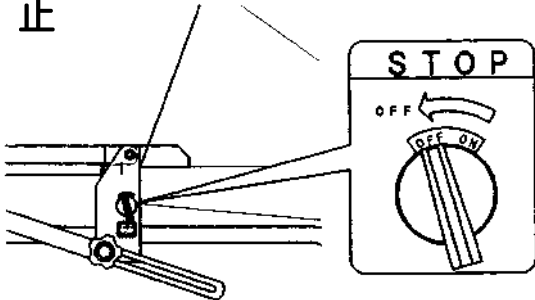
機械から離れる時はエンジン停止し、冷えてから



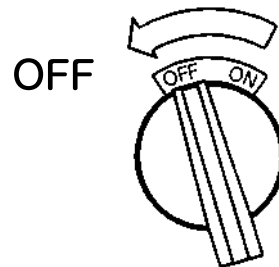
エンジンの高温部には、絶対手を触れない



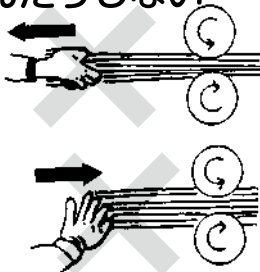
点検や移動時は必ずエンジン停止



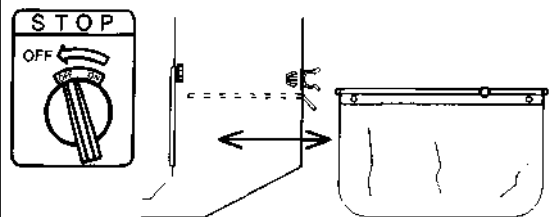
詰まりや異常発生時はすぐにエンジン停止



供給物を無理に引っ張ったり、押し込んだりしない



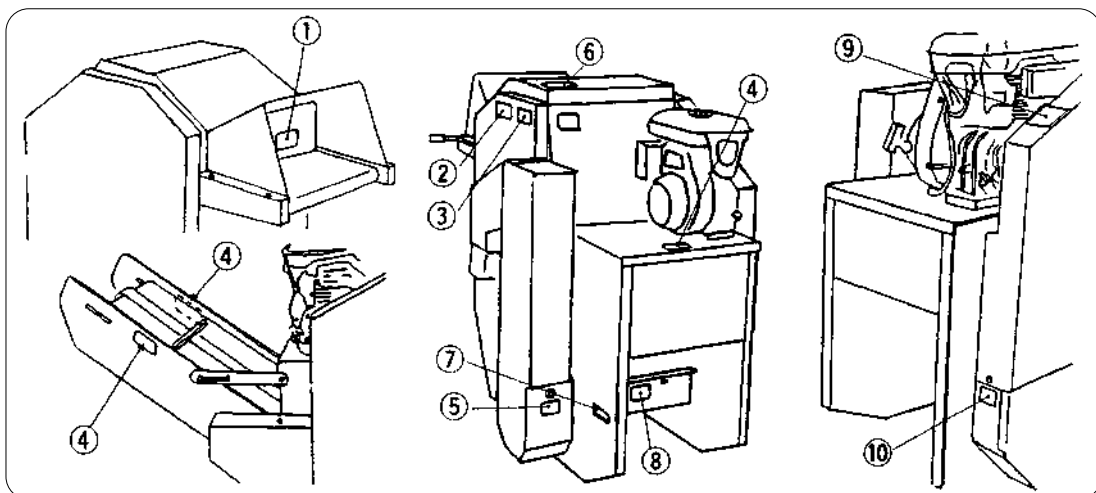
2番袋の脱着時はエンジン停止



# ⚠️ 注意 安全のため必ずお守りください

## 使用前に安全ラベルをよく読む

- 本機には次の安全ラベルが貼ってあります。良くお読みになって、理解した上で作業してください。



① 品番 19115-31911

	<b>⚠️ 危険</b>
	回転中この中に絶対手を入れないこと。 中の回転物に巻き込まれケガをします。

② 品番 71131-41171

<b>⚠️ 注意</b>
1. 取扱説明書をよく読み、機械の使い方をよく覚えてから使用のこと。 2. 取扱説明書がない場合は取寄せてください。 3. 必ず動力機の安全力バーを取り付けて使用のこと。 4. 点検整備時は、必ず動力を止めること。 5. 点検整備で取り外した力バー類は、必ず元通り取り付けのこと。

③ 品番 71345-41131

	<b>⚠️ 警告</b>
	換気の悪い所で使用しないこと。 排気ガスで健康を害することがあります。

④ 品番 5J000-41321

<b>⚠️ 注意</b>
ケガをするおそれがあるので、絶対に回転物に触れないこと。

⑤ 品番 71131-41181

<b>⚠️ 注意</b>
1. 点検時は必ず動力を止めること。 2. 点検後はこのフタを必ず閉じること。

⑥ 品番 71131-41151

	<b>⚠️ 警告</b>
	回転中は絶対に力バーを閉けないこと。 中の回転物によりケガをすることがあります。

⑦ 品番 19323-41161

<b>⚠️ 注意</b>
2番の袋を脱着する時は、必ず動力を停止すること。

⑧ 品番 22770-21111

	<b>⚠️ 警告</b>
	回転中、この中に絶対手を入れないこと。 中の回転物に巻き込まれケガをします。

⑨ 品番 71335-41141

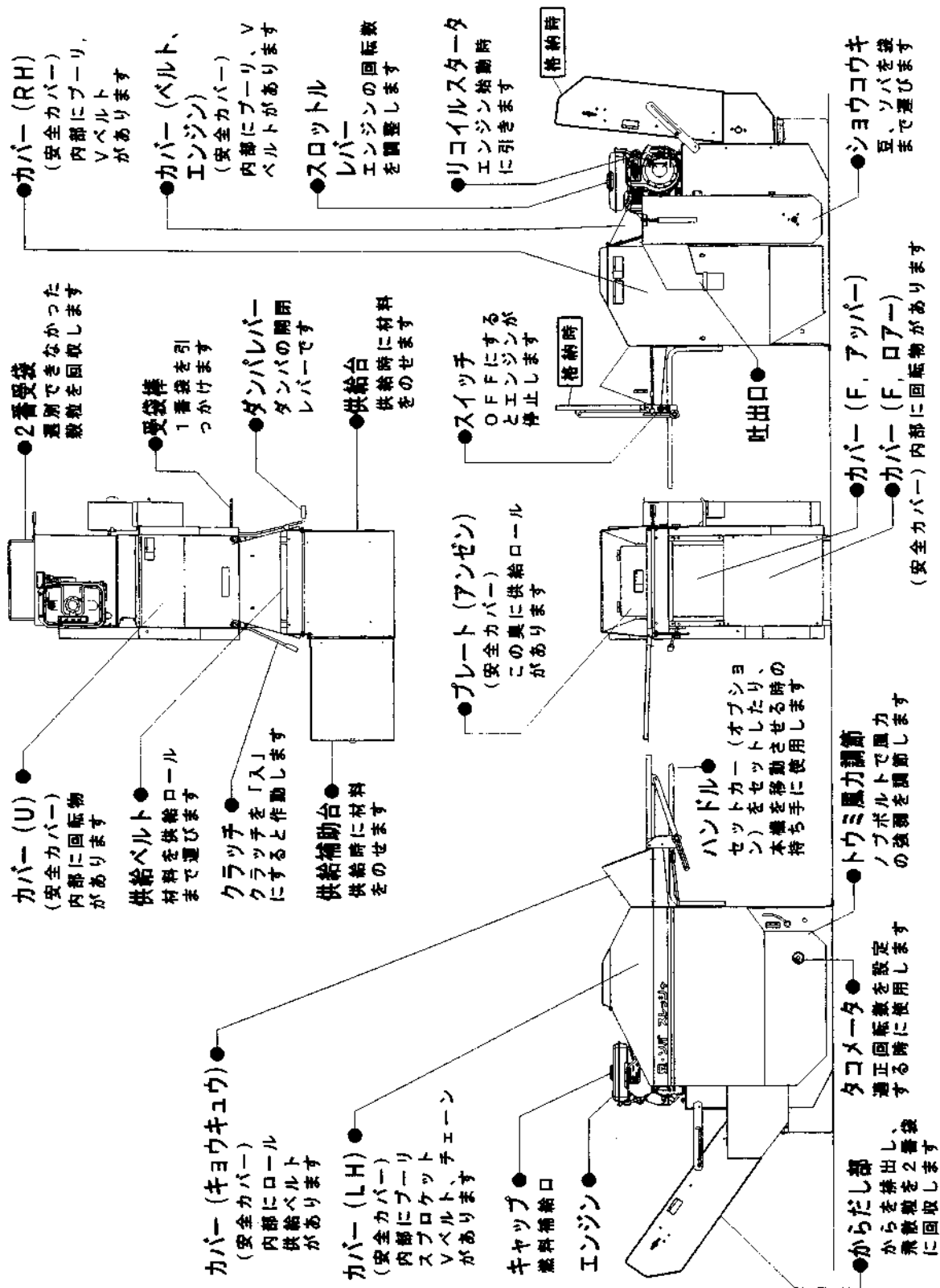
<b>⚠️ 注意</b>
エンジンに触れないこと。ヤクドをします。

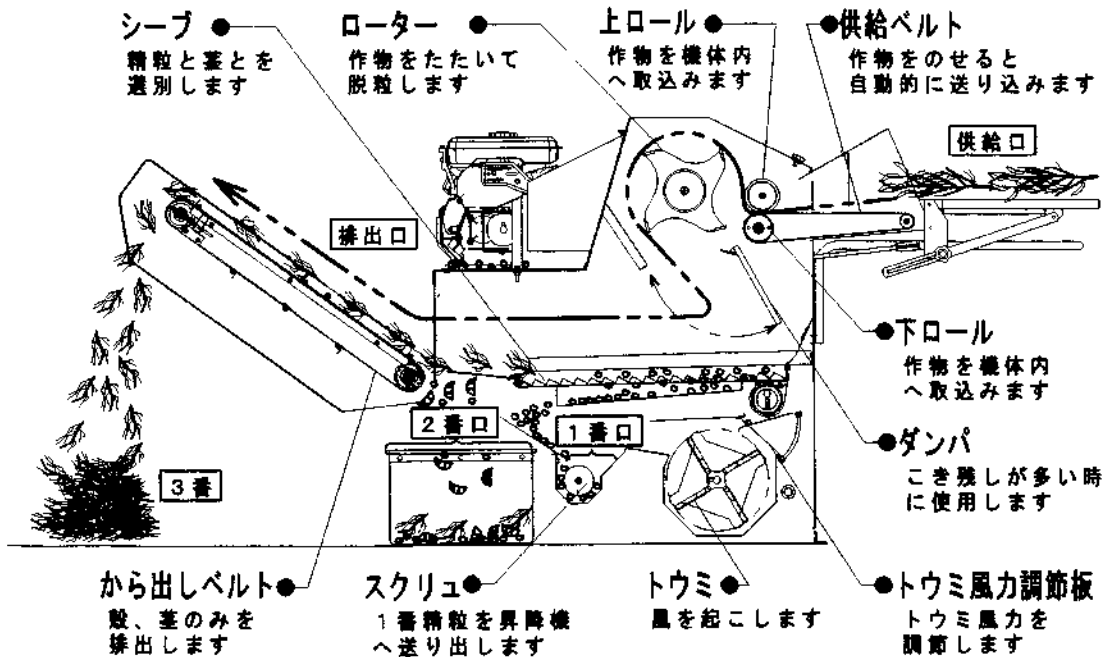
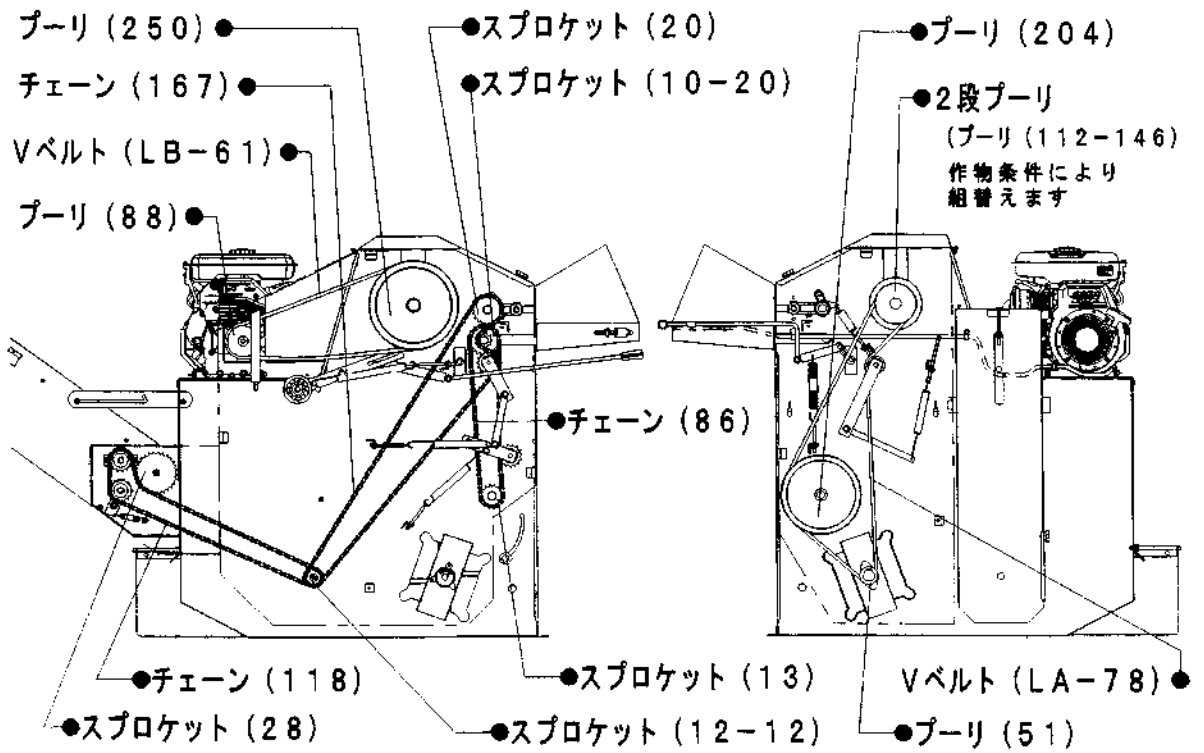
⑩ 品番 19323-41181

<b>⚠️ 注意</b>
搬出し装置を接続しない時は、このフタを閉じて必ずボルトで固定すること。

- ラベルはいつもきれいにし、ハッキリと見えるようにしてください。
- シンナーやアセトンなどの溶剤ではふかないでください。文字や絵が消えることがあります。
- ラベルが損傷・破損した場合は新しいラベルと交換してください。
- 安全ラベルを貼ってある部品を交換したときは、必ず新しい安全ラベルも取寄せ、取外した部品と同じ場所に貼ってください。

# 各部の名称とはたらき





# 使用前の準備

## 注意

- 準備作業は必ずエンジンを停止した状態で行ってください。

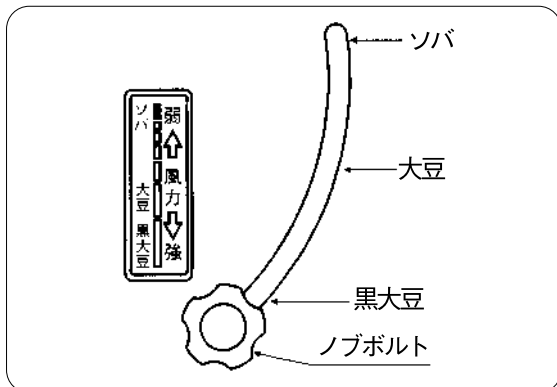
### 1. 作物ごとの各部の切替え

作物の種類により、トウミ風力、供給ロールのすき間、ローター部2段プーリの組替えを下表のように設定します。

作物 切替項目	大豆	ソバ	黒大豆 (大粒)
トウミ風力	中	弱	強
供給ロール 隙間 (mm)	2	2	11
ローター 2段プーリ	小 径		

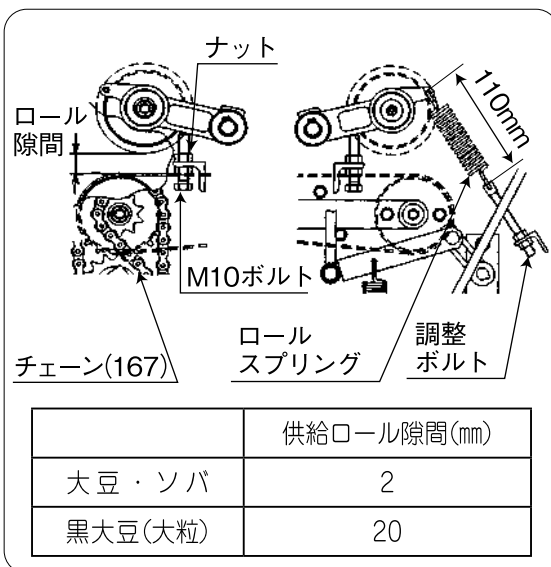
### ●トウミ風力の設定

ノブボルトをゆるめ、作物ごとに位置を設定し固定します。



### ●供給ロールのすき間調節

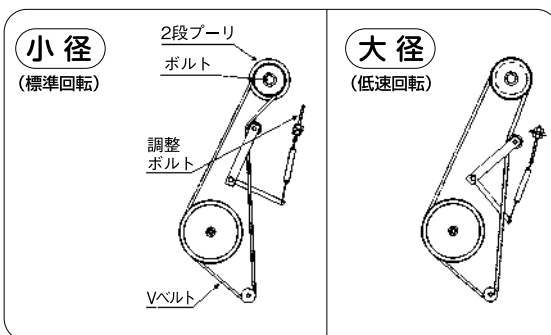
- ①カバー (LH)、カバー (RH) を外します。
- ②M10ボルトを固定しているナットをゆるめ、ボルトの上下動でロールのすき間を調節します。ロールにあらかじめすき間ゲージとなるものを入れておくと容易に調節ができます。すき間は左右均等になるようにします。
- ③ナットを諦付け、M10ボルトを確実に調節固定します。
- ④調整ボルトでチェーン (167) を適度に張り直します。
- ⑤調整ボルトでロールスプリングをフック部の内寸法が110mmになるように張り直します。



### ■ローター部2段プーリの組替え

黒大豆、大豆で損傷粒が多く発生する場合にはのみ、大径に組替えて下さい。

- ①カバー (RH) を外します。
- ②2段プーリを固定しているボルトを外します。
- ③Vベルトを外しプーリを逆向きに組替え、ボルトで固定します。
- ④調整ボルトでベルトを適度に張り直します。



### 2. 作物の作業条件

#### (1)作物の乾燥状態

##### 〈大豆、黒大豆〉

本機の性能をじゅうぶんに発揮させるために、作物は極力乾燥させてください。ただし、黒大豆での過乾燥は割れや表皮のはく離の原因となりますのでじゅうぶんに注意してください。

##### 〈ソバ〉

- 黒化率 (こっかりつ) 90%以上。
- 葉、茎が乾燥、変色し、葉が落ちやすく、茎が折れやすくなっている。



《豆の作業適期は、下図の条件の時です。》



**重要**

- 葉や莖がまだ青く水分が多いと、選別部の目つまりや、スクリュ搬送部での詰まりや、昇降機ベルトの破損など、トラブルの原因となります。

(2)根の切断

作物の根は切断して下さい。

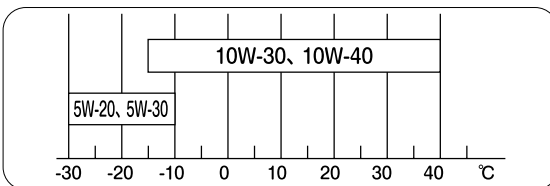
**重要**

- 機体内に土が入ると汚粒が発生したり、詰まりなど、トラブルの原因となります。

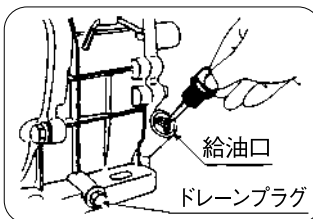
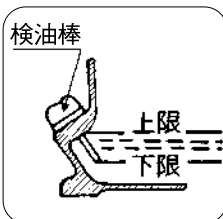
3. エンジンオイルの供給

**重要**

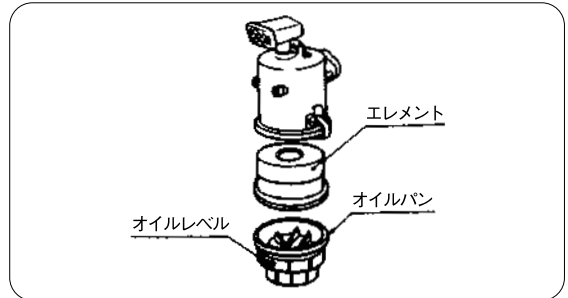
- 出荷時はエンジンのクランクケースとエアークリーナにオイルが入っていることを確認して下さい。入っていないければ、必ず給油してから使用して下さい。
- エンジンオイルはS E級以上を使用し、粘度は気温によって右表のように使い分けてください。



- ①クランクケースに給油口から上限までエンジンオイルを入れます。



- ②エアークリーナのオイルパンにオイルレベルまでエンジンオイルを入れます。



4. 燃料の給油

**警告**

- 燃料の補給は必ずエンジンを停止し、完全に冷えてから行ってください。エンジンが熱い間はヤケドや火災の危険があります。
- 火気の近くや、くわえたばこでの燃料補給は絶対にしないでください。火災や爆発の危険があります。

- ①キャップをあけて燃料を補給します。

**重要**

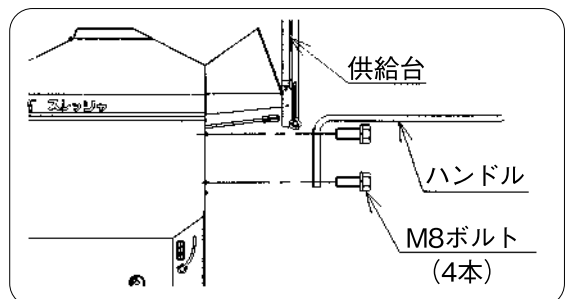
- 燃料は自動車用レギュラガソリンを使用し、それ以外は使用しないでください。

**注意**

- 給油後キャップを確実に締め、こぼれた燃料はきれいにふきとってください。

5. ハンドル（梱包品）のセッティング

下図の箇所のM8ボルト4本を外してそこにハンドルを組み付けてください。

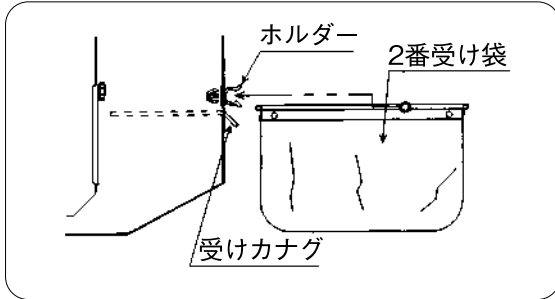


方向転換や移動（セットカー（オプション）使用）時は供給台を持たずにハンドルを使用してください。）

## 6. 2番受け袋(梱包品)と1番受け袋の取付け

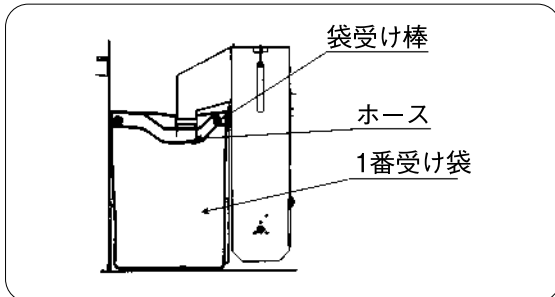
### ● 2番受け袋の取付け

2番受け袋をフレームの受けカナグの上に置き、そのまま入れ込みホルダーで固定します。



### ● 1番受け袋の取付け

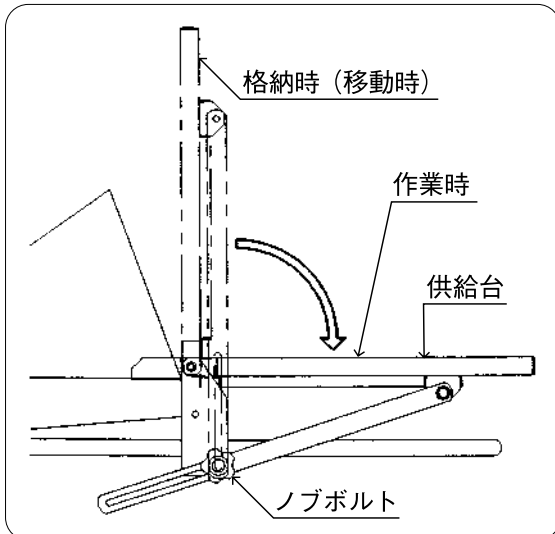
- ① 1番受け袋のファスナを開き、袋受け棒に差し込みます。
- ② ホースの口を袋の中に入れてこみます。



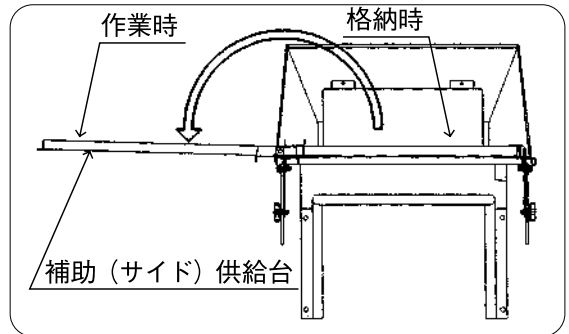
## 7. 供給部のセッティング

### ① 供給台のセット

ノブボルトをゆるめ作業時のようにセットし、再びノブボルトで左右固定します。



② 補助(サイド)供給台のセット  
作業時のように左方向に開きセットします。



格納(移動)時は逆の手順で行ってください。

### 重要

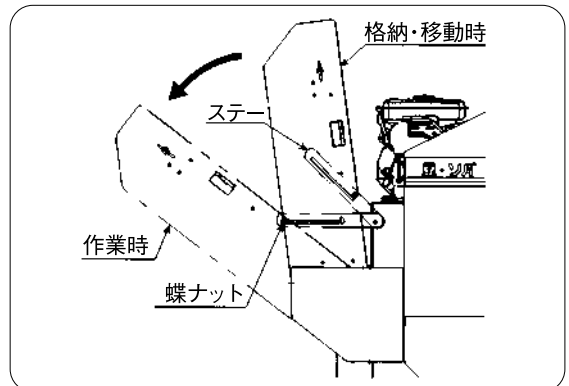
作物以外の重量物を乗せたり、体重をかけたり、供給台を持って移動させたり絶対にしないでください。変形、破損の原因となります。

### 注意

- セットカー(オプション)で移動させる場合は、必ず格納の状態にして移動させてください。ハンドルが見えず大変危険です。

## 8. から出し部のセッティング

蝶ナットをゆるめ作業時のようにから出し部をセットし、再び蝶ナットで固定します。



格納(移動)時は逆の手順で行ってください。

### 重要

セットカー(オプション)で移動させる場合は、必ず格納の状態にしてから、セットカーの車輪をセットしてください。持ち上げすぎるとステーの変形につながります。

## 9. 作業場所の選定

### 重要

- 機械の性能を維持するため、次のような場所での作業は避けてください。

(1) 地面のやわらかい所や、凸凹のある場所、

傾斜地。

- (2) 雨風の当たる所。
  - (3) 供給口が風下側になる所。
  - (4) 換気の悪い所（屋内作業の場合）
- (1)～(3)の条件下での作業は、選別性能が低下します。

### 警告

- 密閉した又は通気性の悪い所では絶対に作業しないでください。排気ガスが充満して

中毒死するおそれがあります。

- 火気のある所では絶対に作業しないでください。排出された莖などに引火し、火災のおそれがあります。
- 水平で平坦な場所で作業してください。傾斜地や不安定な所では、作業中に移動したり、転倒したりする危険があります。

## 作業のしかた

### 注意

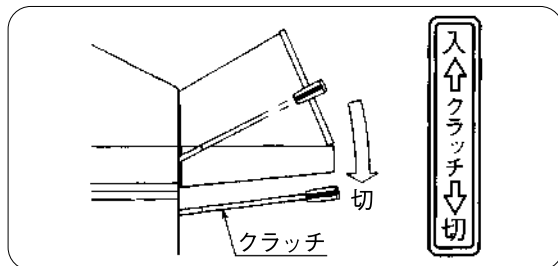
- 本機には照明灯が付いておりません。暗くなってからの作業は行なわないでください。
- 機械から離れるときは必ずエンジンを停止し、冷えるまで待ってからにしてください。
- エンジン回転中と停止後10分位はエンジンに触れないでください。ヤケドをします。
- エンジンの各名称とイラストが異なる場合がありますので、エンジン付属の取扱説明書をご覧ください。

### 1. エンジンの始動

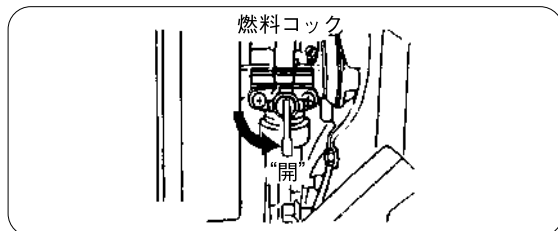
#### 注意

- 周囲の安全をじゅうぶん確認し、必ずクラッチを「切」にしてから始動してください。
- カバー類を外したままでエンジンを始動しないでください。回転体に巻き込まれケガをします。

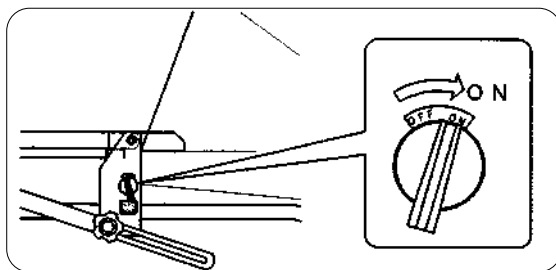
- ①クラッチを「切」にします。



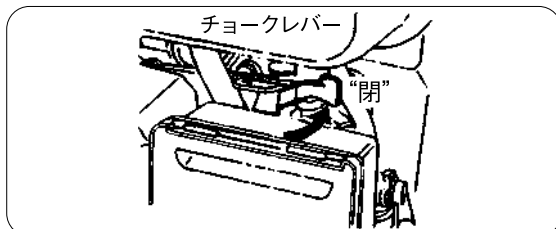
- ②燃料コックを「開」にします。



- ③供給部にあるスイッチを「ON」にします。



- ④チョークレバーを「閉」にします。（エンジンが熱いときは不要です。）



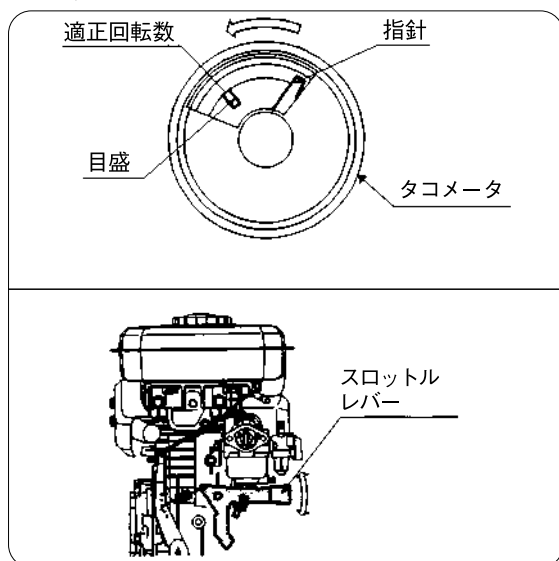
- ⑤リコイルスタータを引き、始動します。始動したらチョークレバーを「開」にします。
- ⑥始動後3～5分間は負荷をかけずに低速で暖気運転を行なってください。

### 2. エンジンの停止

- ①クラッチを「切」にします。
- ②スイッチを「OFF」にします。
- ③作業終了の場合は燃料コックを「閉」にします。

### 3. 回転数の設定のしかた

- ①エンジンを始動します。
- ②クラッチを「入」にします。
- ③機体左側のタコメータの指針が目盛に合うように、エンジンのスロットルレバーを調節してください。



#### 重要

- 回転数の設定が合わないと、詰まりや搬送不良など、トラブルの原因となりますので、必ず目盛りに合せて設定してください。

### 4. 供給作業のしかた

供給は材料をできるだけ均平に広げ、縦向きに行なってください。かためて供給しますと馬力を要するだけでなく脱粒性能も低下します。

#### 危険

- エンジン回転中は供給口、排出口の中に絶対手を入れないでください。中の回転物に巻き込まれ大ケガをします。

#### 注意

- エンジン回転中は周囲に人を近づけないでください。特に子供さん達に注意してください。
- 軍手は使用しないでください。供給ロールに巻き込まれて大ケガをするおそれがあります。
- 作業中に詰まりなどの異常が発生した場合は、すぐにエンジンを停止し、回転が止まってから点検してください。

- 供給物を引っ張ったり押し込んだり、附着物を手で取ったりすることは絶対にしないでください。
- 供給物に異物（石、工具、金属等）が混入しないように注意してください。

### 5. 2番の再供給

2番受け袋がいっぱいになったら、再供給してください。

供給時は、供給ベルトの上に均平にのせて供給してください。この時、トウミの風力はやや強めにしてください。

#### 注意

- ムリに押し込んで供給することは絶対にしないでください。ロールに巻き込まれ大ケガをします。
- 2番の袋を脱着する時は、必ずエンジンを停止してから行なってください。

### 6. トウミ風力の調節

2番袋へ精粒が多く出る時は、風力を弱くし、1番袋へ枝やさや等が多く入る時は強くしてください。

## 7. ダンパの使用法

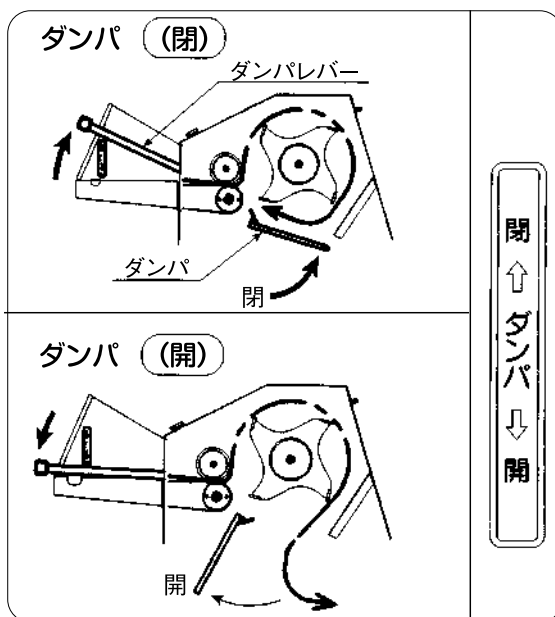
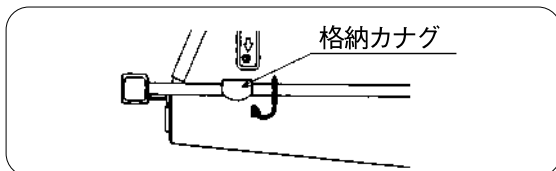
作物の乾燥条件などにより、未脱粒が多く発生する場合のみダンパを使用してください。

ダンパレバーを「閉」にして適量供給後ダンパレバーを押し下げて排かんします。

ダンパを使用しない場合は、必ずダンパレバーを押し下げて、格納カナグに格納してください。

### 重要

- ダンパを「閉」の状態のまま、供給し続けると、詰まりの原因となりますので必ず、ダンパを「開」にして、排かん後に次の供給を行なってください。



# 調整・点検・注油

## 注意

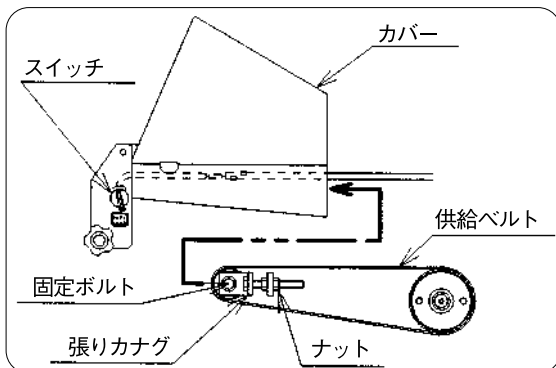
各部の調整、点検、注油は必ずエンジンを停止し、回転が止まってから行ってください。

### 1. ベルト、チェーンの張り調節

チェーン、ベルトに山越え、スリップなどが発生する場合に調整してください。強く張りすぎますと、耐久性が低下しますのでご注意ください。

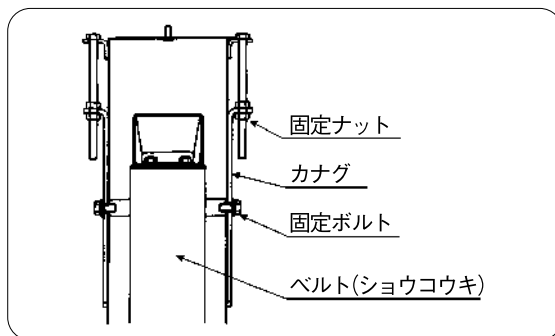
#### ●供給ベルト

ベルトがスリップしたり、片寄りする場合は、カバーを外した後、固定ボルト、ナットをゆるめ、張りカナグを左右均等に張り直します。この時、スイッチコードの接続を確実に行ってください。



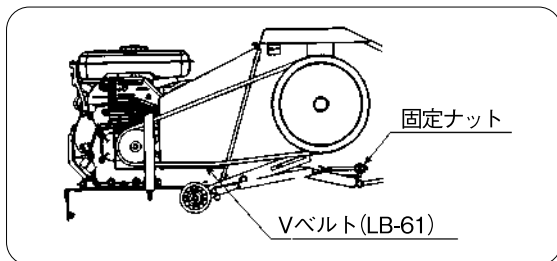
#### ●ベルト (ショウコウキ)

ベルトがスリップしたり、片寄りする場合は、固定ナット、固定ボルトをゆるめカナグを張り直します。



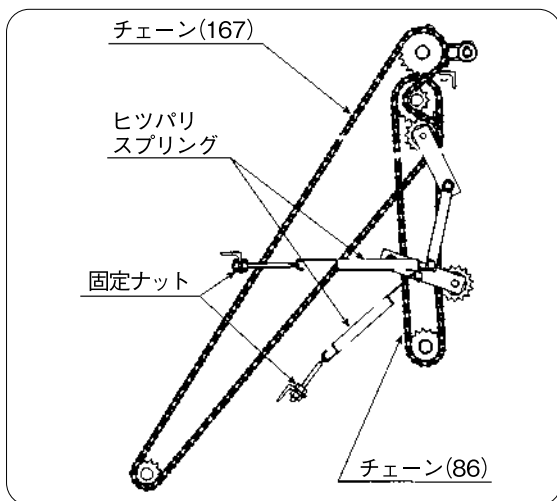
● Vベルト (LB-61)

固定ナットをゆるめ、ヒップリスプリングを張り直します。



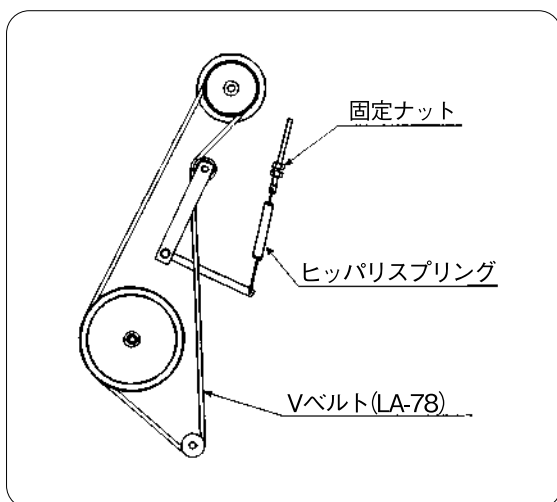
● チェーン (167) 、チェーン (86)

固定ナットをゆるめ、ヒップリスプリングを張り直します。



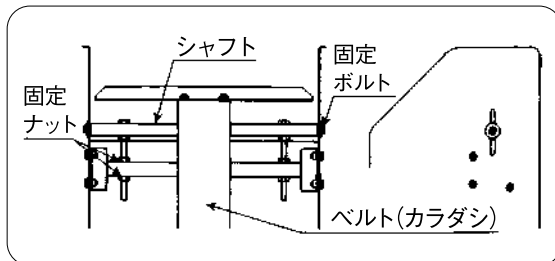
● Vベルト (LA-78)

固定ナットをゆるめ、ヒップリスプリングを張り直します。



● ベルト (カラダシ) の張り調節

ベルトがスリップしたり、片寄りする場合は、固定ナット、固定ボルトをゆるめシャフトを左右均等に張り直します。



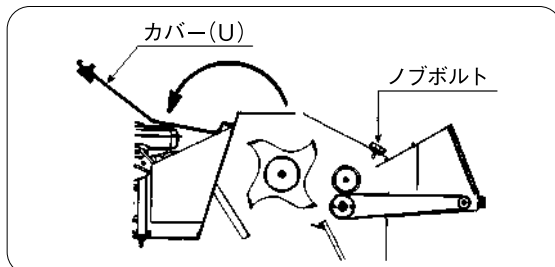
2. 掃除、点検箇所



- 掃除、点検時は、必ずエンジンを停止し、回転が止まってから行なってください。

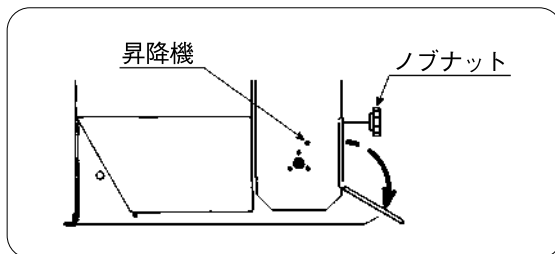
● カバー (U) の開閉

ローター部での詰まり除去や掃除する時には、ノブボルト (抜け止め防止付き) 2個をゆるめ、カバー (U) 開いてください。



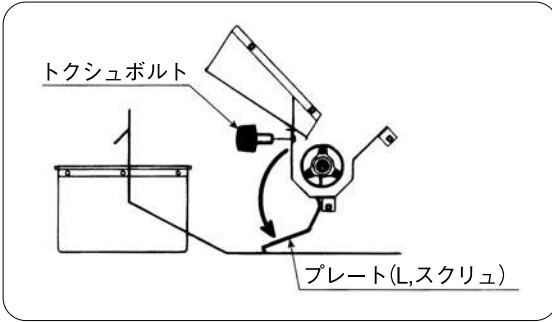
● 昇降機掃除口

昇降機内にたまった精粒などを取り出す時は、ノブナットを外し、カバーを下方へ開いてください。



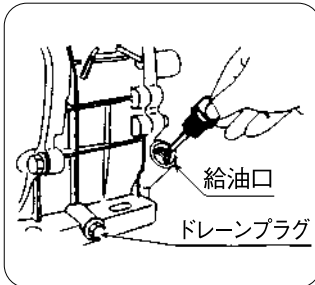
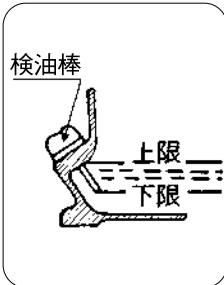
●プレート（L、スクリュ）掃除口

スクリュ内にたまった精粒を取り出す時は、トクシュボルトを外し、プレート（L、スクリュ）を下方へ開いてください。



●エンジンオイルの点検

- ①クランクケースのエンジンオイルを点検し、減っていれば上限まで補給してください。
- ②エアークリーナのオイルを点検し、減っていればオイルレベルまで補給してください。



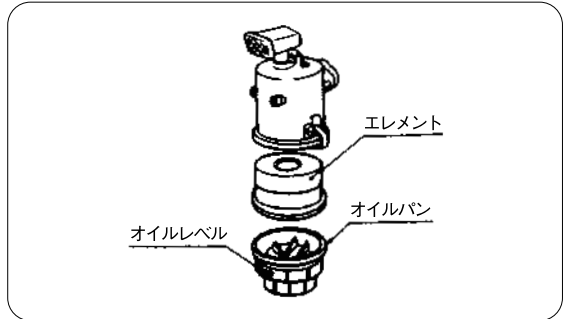
●定期オイル交換

オイルの交換は1回目は20h、2回目以降は100h 毎に行なってください。  
 オイルの抜き取りは、ドレインプラグを外して行なってください。

●エアークリーナの掃除

毎日作業前にエアークリーナのエレメントを点検し、汚れていれば掃除してください。

- ①エレメントを取り外し、灯油又は家庭用洗剤でよく洗い、洗浄液を振り切ってから取り付けます。
- ②エレメントを掃除するときは同時にオイルパンもよく洗いオイルも交換してください。



●エンジンの燃料パイプの交換

エンジンのフューエルパイプ及びゴム類は1年毎に交換してください。



- フューエルパイプ等の老化・傷により燃料がもれると火災の原因となります。

3. 注油箇所

注油箇所……………チェーン、スプロケット  
 シーズン前に必ず注油してください。

## 長期格納のしかた

1. 各部に付着した泥や汚れをきれいに掃除してください。
2. 回転部やベルト等に巻付いているものを取除いてください。
3. 豆、ソバや枝等が残っていると、ねずみの巣になりますのできれいに掃除口などから取除いてください。
4. ネジのゆるみやベルトの伸びがないかチェックし次の年の作業にそなえてください。
5. 注油箇所にじゅうぶん注油してください。
6. 湿気の少ない場所にシートを掛けて保管してください。
7. エンジンについては、エンジンの取扱説明書をご覧ください。

# 不調の原因と処置

現 象	原 因	処 置	参照ページ
詰まる	供給量が多過ぎる	供給量を少なくする	11-4
	材料の乾燥が悪い	材料を乾燥してから供給する	7-2
	回転数が低い	回転数を正規にする	7-1 11-3
	伝導ベルトのスリップ	ベルトを張るか交換する	12-1
選別が悪い	トウミの風が弱い	風を強くする	7-1 11-6
	根付で供給している	根を切って供給する	7-2
	傾斜地で作業している (左右の傾き) (供給側が低い)	機械を水平にセットする	9-9
	回転数が低い	回転数を正規にする	7-1 11-3
2番へ精粒が多く 出る	トウミの風が強い	風を弱くする	7-1 11-6
	回転数が高い	回転数を正規にする	11-3
	傾斜地で作業している (供給側が高い)	機械を水平にセットする	9-9
	かためて大量に供給している	薄く、均平に供給する	11-4
	回転数が低い	回転数を正規にする	7-1 11-3
未脱粒がある	材料の乾燥が悪い	材料を乾燥してから供給する	7-2
	かためて大量に供給している	薄く、均平に縦供給する	11-4
	回転数が低い	回転数を正規にする	7-1 11-3
割れ豆が多い	ロールすき間が小さい	適正すき間に設定する	7-1
	回転数が高い	低回転に設定する	7-1 11-3
	過乾燥	乾燥を戻してから供給する	7-2
エンジンがかからない	スイッチが「OFF」になっている	スイッチを「ON」にする	10-1
スイッチを「OFF」 にしても、エンジ ンが停止しない	ハーネスの接続不良	ハーネスの接続を点検する	
	スイッチが接地（アース）さ れていない	スイッチが接地（アース）さ れているか確認する	



# 仕様

型 式		MS-400
機 体 寸 法	全長（格納時）	2597mm（1703mm）
	全幅（格納時）	1217mm（704mm）
	全高（格納時）	1136mm（1355mm）
重 量		186kg
適 応 作 物		大豆、ソバ、黒大豆、小豆
供 給 方 法		自動供給型（ベルト供給）
脱 粒 方 式		アンダーフロー・ワンウェイ方式
排 かん 方 式		連続、及び、間欠排かん（ダンパ使用時）
供 給 幅		560mm
こき胴回転数		640rpm（標準） 450rpm（低速）
能 率 （水分18%以下時）		200~400kg/h（大豆、黒大豆） 80~100kg/h（ソバ）
搭載エンジン		2.8P S / 1800rpm

# オプション

適応機種	品 番	品 名	型 式	内 容
MS-400	19844-0000-0	セットカー	MS-4S	MS-400の移動 運搬用車輪
	19828-0000-0	トラクタマウント	MS-2	MS-400用移動 用マウント（動力 取出し無し）

# 安全確認一覧表

## 【基本事項】

1. 作業管理者を決めること。
2. 作業に適した健康人であること。
3. 取扱説明書をよく読み、理解していること。
4. 使用目的が本機の要求目的と合致していること。
5. 不当な改造をしないこと。

## 【作業について】

1. 安全ラベルの注意事項を守ること。
2. 作業場所の換気と明るさに注意をはらうこと。
3. 作業は水平でしっかりした場所で行なうこと。
4. 作業に合った服装で行なうこと。軍手は使用しないこと。
5. 毎日作業前にエンジン・脱粒機の点検・掃除を行なうこと。
6. 燃料補給時の注意 <ul style="list-style-type: none"><li>●必ずエンジンを停止し、冷えてから行なうこと。</li><li>●火気の近くやくわえタバコでは絶対に行なわないこと。</li><li>●キャップは確実に締め、こぼれた燃料はふきとること。</li></ul>
7. エンジン始動時の注意 <ul style="list-style-type: none"><li>●カバー類を必ず取付けること。</li><li>●周囲の安全を確認すること。</li><li>●必ずクラッチを切ること。</li></ul>
8. 回転中は供給口・排出口の中に絶対手を入れないこと。
9. エンジン運転中と停止後10分間はエンジンに触れないこと。
10. 機械から離れる時は必ずエンジンを停止し、冷えるまで待つこと。
11. 回転中は周囲に人を近づけないこと。
12. 作業中に詰まったり異常が発生したときは、すぐにエンジンを停止すること。
13. 作業中は回転物に絶対手を触れないこと。
14. 2番の袋を脱着する時は、必ずエンジンを停止してから行なうこと。
15. 供給物を引っ張ったり、押し込んだりしないこと。
16. 供給物に異物が混入しないように注意すること。

## 【点検・格納について】

1. 点検・調整はエンジンを停止し、回転が止まってから行なうこと。
-----------------------------------

# 安全説明確認カード

説明者（販売店・農協）控

年 月 日

私は説明員から安全についての説明をききました。

ご使用者住所

氏名

①

販売店・農協名

担当者

型 式

製造番号

## 【基本事項】

チェック

1. 作業管理者を決めること。	
2. 作業に適した健康人であること。	
3. 取扱説明書をよく読み、理解していること。	
4. 使用目的が本機の要求目的と合致していること。	
5. 不当な改造をしないこと。	

## 【作業について】

チェック

1. 安全ラベルの注意事項を守ること。	
2. 作業場所の換気と明るさに注意をはらうこと。	
3. 作業は水平でしっかりした場所で行なうこと。	
4. 作業に合った服装で行なうこと。軍手は使用しないこと。	
5. 毎日作業前にエンジン・脱粒機の点検・掃除を行なうこと。	
6. 燃料補給時の注意 <ul style="list-style-type: none"><li>●必ずエンジンを停止し、冷えてから行なうこと。</li><li>●火気の近くやくわえタバコでは絶対に行なわないこと。</li><li>●キャップは確実に締め、こぼれた燃料はふきとること。</li></ul>	
7. エンジン始動時の注意 <ul style="list-style-type: none"><li>●カバー類を必ず取付けること。</li><li>●周囲の安全を確認すること。</li><li>●必ずクラッチを切ること。</li></ul>	
8. 回転中は供給口・排出口の中に絶対手を入れないこと。	
9. エンジン運転中と停止後10分間はエンジンに触れないこと。	
10. 機械から離れる時は必ずエンジンを停止し、冷えるまで待つこと。	
11. 回転中は周囲に人を近づけないこと。	
12. 作業中に詰まったり異常が発生したときは、すぐにエンジンを停止すること。	
13. 作業中は回転物に絶対手を触れないこと。	
14. 2番の袋を脱着する時は、必ずエンジンを停止してから行なうこと。	
15. 供給物を引っ張ったり、押し込んだりしないこと。	
16. 供給物に異物が混入しないように注意すること。	

## 【点検・格納について】

チェック

1. 点検・調整はエンジンを停止し、回転が止まってから行なうこと。	
-----------------------------------	--





## 純正部品を使いましょう

補修用部品は、安心してご使用いただける純正部品をお買求めください。  
市販類似品をお使いになりますと、機械の不調や、機械の寿命を短くする原因になります。

## 純正オプションを使いましょう

純正オプションは、一番よくマッチするように研究され、徹底した品質管理のもとで生産・出荷していますので、安心して使っていただけます。  
市販類似品をお使いになりますと、作業能率の低下や機械の寿命を短くする原因になります。



株式会社 齋藤農機製作所

- 本社・工場 〒998-0832 山形県酒田市両羽町332番地  
TEL0234(23)1511(代) ファクシミリ0234(26)4161
- 北海道営業所 〒079-0181 北海道岩見沢市岡山町18番地  
TEL0126(24)5401(代) ファクシミリ0126(24)5402
- 九州営業所 〒861-8039 熊本県熊本市東区長嶺南1丁目1番10号  
TEL096(384)6865(代) ファクシミリ096(384)6864

品番 19327-4319-3